

ウィズ ～ともに～

WITH



おれんじ村

発行：社会福祉法人 くまもと障害者労働センター 〒861-8039 熊本市東区长嶺南1-5-4 0
TEL: 096-382-0861 FAX: 096-285-7755 <http://1985orange.com>



いよいよ。本当にいよいよ。 ～間もなく新社屋が 完成☆～

みなさん知っていますか？毎回 WITH（機関誌）に紹介してるんで、もうご存知だと思いますが、いよいよ。本当にいよいよ。くまもと障害者労働センターの新社屋が完成に近づいています。8月に工事が始まって、あっという間です。思い起こせば2016年4月の熊本地震がきっかけで、新社屋建設の構想が始まって早4年を過ぎてしまいましたが、やっと完成に近づいてきました。

熊本地震により被災し、おれんじカフェをカフェテリアから弁当製造・販売の事業に転換。震災ボランティアに来ていただいた全国の方々のお昼ご飯の製造から始まり、みんなで手さぐりでがんばってきたお弁当屋さん。

今では、たくさんの注文をいただけるようになってきました。ご注文いただいて、弁当を作って、お届けするまで大変さを感じながら、同時に働く喜びを感じています。また、新社屋の厨房内には弁当製造のための専用の厨房ができる予定です。そこには、ヤマト福祉財団さまより、厨

房設備の助成をいただくこととなっています。

もっとも一と、おれんじ村のお弁当を知ってもらい、おいしいと食べていただけるようにがんばりたいと思います。新社屋の完成が待ち遠しい日々です。

完成予定は12月22日。おれんじ村のクリスマスプレゼントになる予定です。もう今から、新社屋で何しようかと楽しみがとまりません。

ぜひ、新しい年が明けたら、おれんじ村の新社屋へ遊びに来てください!! お待ちしています。

 岩尾将史・宮本真太郎



けんしゅう

共同連マラソントーク in 水俣

研修報告とまんぷく旅行記

去る10月17日、エコネットみなまたで共同連マラソントーク in 水俣があり、労働センターから9名で参加しました。コロナ禍で、久しぶりの日帰りではなく宿泊での研修。たくさん勉強しただけでなく、美味しいものを食べたり、夜みんなで熱い？話をしたり、水俣観光を楽しんだり、とても楽しい思い出がたくさんできました。まじめな研修の報告だけでなく、あかりんのまんぷく旅行記も一緒に楽しみください。

まず僕にできること

共同連のマラソントーク in 水俣、企業組合エコネットみなまた『はたらーく(傍楽生)』開設記念に、労働センター9名で参加してきました。

水俣病事件の現在として、水俣病被害者互助会の会長佐藤秀樹さんの話を聞きました。まだまだ水俣病事件は終わっていない。今でも続いている



🍊 エコネットみなまたに到着!!

ことを実感しました。長く裁判。水俣病患者を診察したことがない医師の証言が認められる現実。今まで苦しんできた水俣病の症状ではなく、現在の症状にのみ着目した診断。本当に信じられません。同じ熊本に住みながらも、ぜんぜん知らないことばかり。自分が恥ずかしくなりました。僕に何ができるのか？きっと一人ではたいしたことはできない。でも、水俣の現実を一人でも多くの人に話すこと。そして、なかまを増やすことが僕にできる唯一のことだと思います。まずは、家族から始めようと思う。娘は小学校5年生です。しかし、コロナの影響で、小学校での水俣の集団宿泊が中止となりました。水俣の現地に来て、ともだちと一緒に水俣病を学ぶ機会がなくなりました。きっと学校ではあると思いますが…。やっぱり現地で患者さんと直接出会い、きれいになった水俣湾を見てほしい。そこでしか、感じられないことがきっとあるはず…。

娘と娘のともだちを誘って、水俣へ。まず、僕にできることだと。

白杉滋朗さんの報告、『障害のある人と共に働く滋賀の取り組み「僕が夜、眠れない理由(わけ)」



🍊 全体会で勉強中

～「分けられない」を伝え続けること～』を聞き、コロナでの経営状態の悪化、労働センターの新社屋の建築等で資金繰りに迫られる中、大切なことは何か。

利用者と職員。指導される人と指導する人ではなく。働く人が対等、平等に働く関係を築くこと。本当に大切にしないといけない、僕の、そして労働センターの理念。

僕は毎日よく眠れる。でももっと真剣に考えて取り組まないと、今の障害福祉制度の中に取り込まれてしまいかねない。労働センターのみんなと真剣に向き合っていくこと。まず、僕にできることだと。

🍊 野 尻 健 司



🍊 あまびえクッキーたくさん売れました!!



あかりんのまんぷく～!! 水俣旅行記

★あかりんプロフィールはこちら★

年齢●●歳

とにかく楽しいこと。美味しいものが大好き。今は、まっちょを目指して、ジムに毎日通ってます。

おれんじ村が加盟する「共同連」のマラソントーク in 水俣へ参加するために1泊2日で水俣へ行って来ました。本日は、『あかりんのまんぷく～!! 水俣旅行記』をお届けします。



🍊 出発!!

早速!! 出発(^)/ 高速ができたので、あっという間に(1時間半の道のりが、3時間かかり)水俣到着。



🍊 いただきー

お腹がペッコペコ(+o+) まずは、水俣の道の駅にある『味の駅たけんこ』へメイン料理+ピュッフエ形式のお店。あかりんはピZZAを注文。初めてのピZZAのカット。真剣っす(^o^)

早速、ひとくち!! うまい)^o^(私の胃袋の限界にチャレンジ!! してみたら、ざっとこんな感じです。まんぷく～ (>_<) さいこぉー!!



🍊 早速ひとくち



🍊 まんぷくー

さあ、これからお勉強!?! あかりんは、楽しいことと美味しいものを食べるのが大好き!! でもって、勉強はちょっと苦手。なので、はい。



🍊 おしとやかに振る舞うあかりん

勉強のシーンは全カット!!!! 夜の交流会へ交流会が始まる前の一枚。知らない人の横で、おしとやかに。。



🍊 花田先生挨拶

さあ、いよいよ交流会が…挨拶なあが～いなあ。

乾杯!! の頃には、あかりんは、もうすでに食べ物の元へ!!GO、ゴー!!

もう写真になって、写って

られない。食べて食べて、楽しいこといっぱい。して!!



🍊 かんぱーい!!

ともだちもいっぱいいつかって!! で、最後は『水俣あかり』を持った、あかりんです。写真は一番上よ。↑

2日目は、福田農場に行って帰りの高速のサービスエリアでソースかつ丼を一人で食べたよ!! まんぷく～!!



🍊 ソースかつ丼、うみぁ!!



夢を見つける!!

おれんじ村

熊本県立大学 門田 優 弥

私は、一週間おれんじ村で「介護等体験実習」をさせていただきました。実習の内容は多岐に渡ります。「おれんじ Cafe」での弁当製造補助、「まいペース」での接客、お菓子の訪問販売、弁当の配達…。そんな幅広いものでしたから、多くの方との出会いがありました。出会ったすべての方々の印象を一言で表すなら、「生き生き」が当てはまるでしょう。多くの従業員の中には、耳が聞こえない人、言葉が上手く出てこない人、気持ちに浮き沈みがある人などがいます。その人たちが「生き生き」と働いている…。それは、「自分に合った役割」から生まれているものでした。例えば、販売と一緒に行かせていただいた方たちは、一日で3万や5万も売るので、色々な場所に行きますが、その全ての場所で大きな声で挨拶します。普通の大きな声ではありません。館内に響き渡り、部屋中の人々が驚いてこちらを見てしまうほどのものです。買わずにいられないと思いませんか？逆にあなたは同じように全力で声を出せますか？私はきっと恥ずかしいと思っています。全力で真剣な人と、恥ずかしくて小さな声の人、どちらが多く販売できるでしょうか。

販売の人たちの強みは、「元気」です。その人たちにも苦手な分野、上手くできないことがあります。でもそれは健常者と言われる人も同じ。出来ることを見つけ、それを強みにする「仕事」という面では何も変わりません。

実習の中で「分ける」ということについて考えさせられました。細かく細かく「支援学校」などに分けて、もちろんメリットもあるのですが、通常の学校でできるはずだった地元の友達、やりたいスポーツを失ってしまうこともあります。結婚する、好きな仕事をする、友達を作る、小さなことでもいいから、「夢」を見つける場所、それが「おれんじ村」だと思います。

「障害のある人たちができる役割を回りが考えられるような環境を作る、それが大事なんじゃないかな。」お世話になった方にいただいたこの言葉は、私の心に一生残ることになるでしょう。頑張れ！おれんじ村！



もうみんなと仲良しです

ひきこもりからの卒業!？ 久島 雅 樹



「たまに外もええなあ」さらには腰まで痛くなりました。

私は、だいたい1年間自宅にひきこもっています。今回、おれんじ村のYさんから、「一緒に行こう!!」と何度もさそわれましたが、最初はかたくなに「いかん」と思っていました。だって本当に行きたくなかったの…

でも数日後K君が自宅に来て「これが最後と思って一緒に行こうよ」と言われ、最初は抵抗していたけど、毎回参加していた大会だったので行く気になりました。水俣までは車椅子に乗り、そのままヴォクシーで高速にのって行っただけで、途中でお尻が痛くなり、

高速をおりて、おれんじ村のみなさんでお昼ごはんを食べた。大好きなラーメン楽しかった。大会は13:30からはじまり、花田先生の挨拶や斉藤さんが共同連と社会的事業所の話があり、その後水俣の話がありました。熊本より

頑張ってるじゃないか感じました。(別におれんじ村の悪口じゃないよ!!) その後、滋賀県のとりくみをねこの白鼠さんから聞き本当に勉強になりました。

夜の交流会では、みんなで乾杯して私はノンアルを一気に半分飲み、こんなだったかなーと思いました。料理はバイキングで、K君が車椅子を押してくれたので刺身を食べました。時間が過ぎると共に、とても楽しい時間だったと思います。交流会の後、菓子を飲むと肩の力が抜け、早々に眠気がきました。

当初泊まる予定だった場所ではなかったけど、ソファで作ってくれた立派なベッドに休ませてもらったので、とても良く眠れました。朝からおれんじ村の人が起こすまで起きませんでした。すごい。



マッサージ器で「ひとやすみ」

帰りはちょっと観光して熊本へ戻りました。家に着いたらすぐヘルパーさんが来てくれ、水俣の2日間が終わったなーと感じました。腰もお尻も痛くなったけど…行って良かった。

編集後記

こんにちは。いよいよ待ちに待った新社屋が12月に完成します。地域の人達の交流の場としてこれからますますおれんじ村が発展することを期待し、おれんじ村はこんなすばらしいところなんだなーと知ってもらえれば嬉しいです。

水俣マラソントークにおれんじ村の仲間が参加しました。いろんな方の報告を聞いて、勉強になったと思います。夜には交流会があり、いろんな方と友達になり、楽しいひと時だったのだろうと思います。翌日は、水俣を観光し、コロナ禍の中ちよと息抜きが出来たのかと思います。

今年のカレンダーは、おれんじ村の村民が、今思っている事を川柳にしました。みんなで意見を出し合い、話し合い、みんなこう思っているんだなーと納得できる川柳となっています。

これから12月になり、ますます寒くなりますが、コロナとインフルエンザにかからぬように、手洗い・うがい・マスク・三密回避を徹底して、新しい年を迎えましょう。

IT部 E